

東海地区本部

第39回定期大会を開催



9月29日(日)稲沢市内において、第39回定期地区本部大会を開催しました。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った奥田委員長は、「能登半島大雨被害では多くの方々が被災され、JR連合と共に復興支援を取り組んでいく。輪軸組み立て作業の不正行為は、鉄道事業の信頼を大きく揺るがす事態であり、安全確保と再発防止に向け、強い覚悟をもって取り組んでいかなければならない。

また、台風10号や羽越本線被災により営業収益が伸び悩んでおり、この難局を労使が一体となって乗り越え、収入確保に向けて取り組んでいかなければならない。

年末手当交渉がスタートするが、『今の会社の状況を考えると厳しい数字になりそう』と、心配する声が多く聞こえてくる。離職者も増加しており、本部と連携し、労働条件改善に向けて取り組んでいく」と述べられました。



来賓には、JR連合東海地協鎌田議長、本部より辻村委員長にお越し頂き、各々より、激励の挨拶を頂きました。

議事に入り、議長に土田代議員を選出し、執行部より経過報告、決算報告、活動方針案、予算案が提起され、満場一致で可決されました。質疑では、改ざんデータ・組織課題・政策課題・労働条件・JR貨物の未来像等について意見が出され、執行部や本部からの答弁を経て、最後に奥田委員長の団結ガンバローで閉会しました。

**強い覚悟を持って
安全確保に取り組もう！**

